



校長室だより

# きまがせ



令和5年4月17日  
野田市立木間ヶ瀬小学校  
校長 松藤 有里

## 令和5年度がスタート！

淡いピンク色のハナミズキがきれいに咲く中、新しい学年に進級し、やる気に満ちた子どもたちが、明るい笑顔で登校しています。

今年度、木間ヶ瀬小学校に着任しました松藤です。今後、学校から保護者の皆様全体にお伝えし、ご理解ご協力をいただきたいことや児童の様子について、不定期ではありますが、校長室だより「きまがせ」を発行してまいります。よろしくお願いいたします。



### 令和5年度の特設部の活動について

今年度の部活動について、児童数の減少等、学校を取り巻く状況の変化を鑑み、昨年度までの方法と変更して実施することとしました。具体的な変更点は次の2点です。

- ① 吹奏楽部から「音楽部」に名称を改め、金管楽器や木管楽器だけでなく、合唱やリコーダーなど、様々な音楽活動に親しむ活動を中心に行う。
- ② 活動は、年間を通して行うものではなく、主に行事前の期間限定とする。

現在、実施が決定している大会等は、6月7日の市内陸上競技大会、10月19日もしくは20日の市内音楽会（※）、11月19日（日）の木間ヶ瀬公民館まつり（※）です。

（※音楽部のみでの参加となるか、出演形態は未定です。）

今後、入部に関する手紙を配付しますので、各部の活動内容等を確認してください。入部を希望する場合は、部活動の顧問及び担任に入部届を提出してください。

木間ヶ瀬小学校の子どもたちと出会った始業式で、こんなことを話しました。

一番大切なことは、「いのち」を大切にすること、たった一つしかない命はかけがえのないもの、だから全力で守らなければならない。交通ルールを守ることや危険な行動をしないことのように、目に見える形で命を守ることができる。目に見えない形でも「いのち」を守ることでもある。それは「言葉」を正しく使うこと。人の心を温かくする「言葉」を使うことで人の「いのち」を守ることでもある。優しい「言葉」が悩んでいる人を救ったり、笑顔にしたりすることもある。

自分の「いのち」を大切にすると同じくらい、周りの人たちの「いのち」も大切に思って、温かく優しい「言葉」を使って生活してほしい。そうすれば、みんなの力で木間ヶ瀬小学校を「楽しい」学校にしていけることができる。